

市長となんでも語ろう会開催

■7月31日 市役所



市長となんでも語ろう会が開かれ、「市民交流センターの入浴施設」と、「平成27年度以降のバス交通のあり方」の2テーマについて説明し、参加者から活発なご意見ご質問をいただきました。

勝山城博物館と連携協定締結

■8月21日 勝山城博物館



公益財団法人に移行した勝山城博物館と勝山市が文化財展示などの活用について連携協定を結びました。自治体と民間博物館の連携は県内初の試みです。

ゆめおーれ勝山に展示ケース寄贈

■9月1日 ゆめおーれ勝山



市制施行60周年を記念し、東京奥越経済同友会からゆめおーれ勝山にガラス製展示用ケースが寄贈されました。

HOT話題

関学ワンゲル部とキャンプ

■8月7日～9日 東山いこいの森ほか



「恐竜キッズ自然体験隊2014」が開催され、市内外の小学生23名が、関西学院大学ワンゲル部の学生とカヌー体験やキャンプで交流しました。



北谷町谷区の伝統を復活させた、谷のはやし込みまつりが行なわれました。あいにくの雨の中、谷教会から伊良神社まで行列が行進しました。

奇祭 谷のはやし込み

■8月15日 北谷町谷区

菊の新品種命名式

■8月18日 市役所



JAテラル越前キク部会が開発した小ギクの新品種を発表し、山岸市長が「奥越堂」と命名しました。

エコ協通信

9月エコ協通信

10地区のエココミュニティ活動の取り組みを順番にご紹介しています。

第8回は平泉寺地区です。

平泉寺は717年(養老元年)に泰澄によって開かれたと言われてい

ます。東に経ヶ岳を望み、西に流れる女神川と、文字通り山と川に囲まれた、山紫水明の地にあり日本の道百選、歴史の道百選、かおり風景百選、美しい日本の歴史的風土百選などにも選ばれています。

平成14年10月に策定されたエコミュージアム推進事業「わがまちげんき発掘事業」を皮切りに平泉寺町まちづくり推進協議会は多岐にわたって事業を展開してきました。

神社内はもちろんのこと、町内各地に点在している名所旧跡の標柱設置や観光マップの作成、奥州藤原氏から寄進されたと言われている黄金の釣鐘探し探検隊、歴史漫画本「白山平泉寺物語」の刊行、女神川での水中すべり台や水中生物の観察会、魚のつかみ取りなどの白山平泉寺女神まつり、「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」の協力を得て、大いに賑わった白山平泉寺参道燈明プロジェクトなどを実施してきました。



白山平泉寺参道燈明プロジェクトでは、まほろばから白山神社本殿までの参道の両脇に、廃油を利用して作った燈明を設置し、大晦日から新年を厳かな雰囲気で見守ることができました。

また、今年は雪不足のためできませんでした。今年度は、精進坂で手作りの竹スキーで遊ぶ親雪・遊雪プロジェクトなどを行ってました。

これからは、ますます創意工夫を凝らしながら、エコミュージアム活動を進めたいと考えています。

そこで、平泉寺町まちづくり推進協議会では、イベントスタッフを募集しています。

町民はもちろん、町外からの参加も歓迎しますので、平泉寺まちづくり推進協議会事務局(☎88・0866)までいつでもご連絡ください。悠久の地平泉寺を楽しみましょう。

問 勝山市エコミュージアム協議会事務局 ☎87・1011

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク



岡横江付近の段丘崖は道幅の狭い折れ曲がった急な坂道です。その坂道には逸話

勝山市の中心市街地や国道に沿って坂道が多く見られます。実は、これは勝山盆地に見られる河岸段丘地形と深い関係があります。勝山盆地に見られる河岸段丘は、九頭竜川や支流の滝波川・女神川などによって形成されました。これは、階段状になった地形で平坦な面(段丘面)と急な崖(段丘崖)からなり、河川のはたきと土地の隆起が繰り返され数万年前に形成されました。

段丘面は、早い時期から人々の居住地としてまた田畑などに利用されてきました。一方、段丘崖は高さ約5〜6mの崖となり、その斜面にはかつては桑の木や樹木が帯状に植わっていました。そのなごりが、岡横江付近の段丘崖などにみられます。勝山の中心市街地は、九頭竜川に沿って2〜3段の段丘面上に発達していることから、東西に横切る道は坂道となったのです。この坂道は、現在は幅広く直線的で傾斜は緩やかですが、昔は道幅の狭い折れ曲がった急な坂道であったようです。その坂道には逸話

—第3回— 坂道のあるまち勝山



七里壁

勝山の中心市街地では、道路の拡張や建物の改築・高層化などで段丘崖の存在が薄らいでいます。城下町の町

とともに名前が付けられ、おたね坂・石坂・追手坂・神明坂・小姥母坂などの坂名が今に伝えられています。この段丘崖は、「七里壁」とよばれ平泉寺町大渡付近から下流方向へ20数km断続的に九頭竜川右岸で見られます。この「七里壁」を境に上位の段丘面には城や武家屋敷が、下位の段丘面には町人町や寺院がそれぞれ配置されたようです。その城下町風情は、今も随所で感じることが出来ます。

問 観光政策課(市役所2階) ☎88・8117

